-+-	日光 旧日代の社		rtun Latza -	(当った)	ヘルガ	7 ml			己重	鼣	列	
(宛先)名古屋市 <b>栄</b>	民税・県民税の減 市税事務所長	免及い森林	<b></b>	別の究園	示に係	る甲類	业書					
					令和	••	年	00	月	$\bigtriangleup$	日	
お住まいの区を	こ記載されている 1担当する市税事	住匠	听 🕯	5古屋市	中区三	の丸王	ETE	31番	17	2		
務所を記入して	ください。	氏	名名	占古屋	太郎							
		生年月日	日 明	大昭	平令	10	年	12	月	12	日	
					-			-				
	年度市民税・県民税減 2分の1以下に減少す。				+	年月  入して			,名・	生年	月日	
	2分の1以下に減少す		-	•	2							
		1 0 - 00 0 - 00 1	(-0)()			x = 1 = 2	2 Ц 13			0	(Frankrau)	
	年度森林環境税免除										2	
	こより、本年中の合計所	得金額が前年の	)2分の	1以下に注	咸少する	見込み	みであ	ることな	を下る	記の		
とおり申し述べます。		記										
1 本年中の総所得金額	f、合計所得金額の見返		甲山									
	、本年中の生活状況			、期間など	ビを具体	的に言	己入し、	てくださ	さい。	)		
□ 退職·廃業	□ 出産・育児	☑ 病気療養中		□ その他	<u>1</u> (	_				)		
	日~20日 入院・手術		1 <b>C</b> 1 1 1 1	811\Ba	サインション ション	<u> </u>		状況				
期間など 6月~	8月は週2回(6時間勤	初物に短縮)、	月以降	年17週3回	劉秀子	E		由など の予定				
	年中)の総所得金額、				- > > > ( -			どさい。	-	- ·		
	得のある人で、源泉徴	収票等のない人	は 裏 血	に記入し	てくださ	k∿。 ┗						
【A】1月から( <b>6</b> 収入の種類	) 月までの収入金額 収入金額①	必要経費等	0									
給与収入	□ <b>728,000</b> 円	心安腔复守	4		ら申請さ						笛や	
公的年金収入	円			源泉徴 給与明							、裏	
( )収入	円		円		別の収り							
【B】( <b>7</b> )月か	ら12月までの収入見返		ا 							H		
収入の種類	収入金額③	必要経費等	4		本年中	の見込	総所得	金額(ア	・+イ・ 1	+ウ*-	,	
給与収入 公的年金収入	<b>480,000</b> 円			申請後	までの	*の収入見込 (ア+イ+ウ)						
(  )収入	円	- Participant Section (1997) And		金額を記入してくだ							円	
【A+B】年間合計收					不円かり	117 : 그존가바	0711 <del>1</del> 114	山 み/み Y -			1.1	
収入の種類	収入金額(①+③)	必要経費等(②·	+4)	戸斤	得金額			絕制	成控隊			
給与収入	1.208.000 円			л Г	658.0	<u>00</u> P	]					
公的年金収入	円			年間の								
(  )収入	円						て、計算方法がわからない場 えありません。					
	]にチェックしてください							-	Land .	1.4		
	っては、本年1月から前 (退職の場合は、退職年					月まで	の支払	4予定	額に	係る新	治与	
	っては、年金支払通知					額がね	っかる	もの				
	ている状態にある者に											
□ 上記以外の者にあ	あっては本年の総所得	金額の見込額の	計算0	)基礎とな	るもの(1	反支内	訳書、	廃業	届等	)		
□ その他(			チム	まて書約		1	<u>л</u> –	د. ۱+۱×۲	51.5	)		
	長が発行した減額承認		添付	する書類 する書類	がない	易合は	、「そ	へたさの他」	にチ	-エツ:	クし、	
	:険受給資格者証の写し :帳の写し 産休・奈休			に記入し								
	帳の写し、産休・育休の がない場合は市税事務		査等て	確認する	場合があ	あります	-					
				引い合わせ			-					
			番	号								

本年中の給与所得の内訳

月	日給	勤務日数	月収								
Л	口市口	<b>勤伤口奴</b>	確	定分	見	込分					
1	₿.000	20	がつ」 ない	160.000		13					
2	8.000	20	5いて月 場合に	160.000							
3	8,000	20	● 月から申請までの	<ul><li>合与申</li><li>記明請</li></ul>	<ul><li>一 谷 ら</li><li>に 与 申</li><li>記 明 請</li></ul>	160,000					
4	8,000	20	→ 入細ま しやで て 源の	160,000							
5	8.000	5	- く泉収 だ徴入	40,000							
6	6.000	8	↓ て く 渡 泉 徴 収 票 等 に 。 等	48,000	なに申いつき						
7	6.000	8			ない場合に記入してく、について、給与支払者の申請後、12月までの収	48.000					
8	6.000	8			- に給IZ 記与月 入支ま	48.000					
9	8.000	12			しくなて しんてん しんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	96.000					
10	8,000	12			- ください 日の証明 - ださい - い	96.000					
11	8,000	12			°書込 等金	96,000					
12	8.000	12			- が額	96,000					
	賞	与 等		با لبا		ក្រ					
$\square$	合			728,000	480.000						
勤務先所在地			名古屋市中国	<u>xx</u>	同左						
勤務先名			株式会	社 O×	同左						
電話番号			052-××	×-××××	同左						

勤務先について、わかる範囲で 記入してください。

※本年1月から申請日の前月までの確定分給与支払額については、確定分に

申請日の当月から12月の見込分給与支払額については、見込分に記入してください。

※確定分・見込分それぞれの合計額を算出し、各合計欄に記入してください。

確定分合計を表面【A】の給与収入欄に、見込分合計を【B】の給与収入欄に転記してください。

※年間合計を算出後、表面の【A+B】年間合計収入見込額の給与収入欄に合計を記入してください。

お問い合わせ					
番 号					